

平成21年千葉市教育委員会会議
第1回臨時会会議録

千葉市教育委員会

平成21年千葉市教育委員会会議第1回臨時会会議録

日時 平成21年3月11日(水)

午後2時00分開会

午後2時25分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委 員 長 津田 英彦
委 員 奥山 福子
委 員 岩沼 静枝
委 員 内山 英夫
委 員 梅谷 忠勇
教 育 長 飯森 幸弘

出席職員 教 育 次 長 小川 隆 教 職 員 課 長 時田 猛
教 育 総 務 部 長 武田 昇 教 職 員 課 主 幹 三野宮純一
学 校 教 育 部 長 岩切 裕 教 職 員 課 長 補 佐 真田 清貴
生 涯 学 習 部 長 河野 正行 総 務 課 主 幹 杉江 達也
教育総務部参事(総務課長事務取扱) 青葉 正人 総 務 課 主 幹 山田 輝夫

書 記 総 務 課 長 補 佐 大崎 賢一 総 務 課 人 事 係 長 内山 健
総 務 課 総 務 係 長 藤代 真史 総 務 課 副 主 査 小池 正彰

- 1 開会
津田委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
津田委員長より梅谷委員を指名
- 4 会期の決定
平成21年3月11日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 議事の概要
 - (1) 非公開事項の決定
議案第7号を非公開審議とする旨決定
 - (2) 報告事項
報告事項(1) 平成22年度公立学校教員採用候補者選考について
教職員課長より報告があった。
 - (3) 議決事項
議案第7号 県費負担教職員の人事について
教職員課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
 - (4) 発言の要旨
報告事項(1) 平成22年度公立学校教員採用候補者選考について
津田委員長 教職員課長、報告をお願いします。
教職員課長 報告事項(1)「平成22年度公立学校教員採用候補者選考について」報告します。今年度は、大分県の不祥事を契機に、教員採用選考の透明性・公平性が大変大きな関心事となったところですが、千葉県・千葉市の採用選考については、毎年度見直しを行い、適宜、選考方法や内容の改善を行っています。本年度は、志願者の確保を図る観点から、県外選考を岩手大学で実施するほか、第2次選考終了後、新たに選考基準の公表や、合格者の受験番号の掲載をホームページ上で実施するなど、更なる改善を行ったところです。次年度、22年度の採用選考についても、これまでの取り組みを前提に更なる改善を行い、より透明性を確保した選考となるよう実施していきたいと考えています。実施要項に基づき、概要を説明します。第1次選考は、7月12日(日曜日)を予定して

おります。選考内容については、これまで、筆答試験の「教職教養」で実施していたマークシート方式を、全ての「専門教科」においても実施します。また、「美術」と「書道」においては、第1次選考から実技検査を実施します。次に、選考会場ですが、東北会場として、次年度も岩手大学で選考を実施します。なお、本年度は対象学校種が「小学校」のみでしたが、対象を全学校種・教科に拡大して実施します。第2次選考は、例年通り8月下旬を予定しています。選考基準については、第1次選考実施前の6月中旬までに、ホームページ上で公表します。選考結果の発表については、可否の結果通知を郵送するとともに、結果発送日に、合格者の受験番号をホームページに掲載します。ホームページへの掲載については、今年度は第2次選考の結果のみでしたが、来年度は第1次選考についても実施します。次に、選考結果の情報提供についてですが、これまでの総合評価による区分の開示に加えて、第1次選考における「教職教養」及び「専門教科」の得点も併せて開示することとします。募集要項は3月13日から配布します。また、提出書類の各種様式については、インターネット上からダウンロードできるようにして、志願者の利便性向上を図っています。次年度も、これまで以上に選考過程に万全を期して、一人でも多く、優秀な人材を採用できるよう努めていきたいと考えています。

議案第7号 県費負担教職員の人事について

委員長 教職員課長、説明をお願いします。

教職員課長 議案第7号「県費負担教職員の人事について」説明します。

当該議案は、平成21年3月31日付け及び同年4月1日付け千葉市立小学校、中学校及び特別支援学校の校長及び教頭（県費負担教職員管理職）の人事発令について、千葉市教育委員会組織規則第8条第5号の規定に基づき、議決を求めるものです。本年4月1日付の管理職の人事発令においては、「平成20年度末及び21年度公立学校職員人事異動方針」に基づき、特に、次の事項に配慮しました。（1）管理と指導に優れ、高い識見を有した管理職の登用に努めたこと。（2）教育効果を高め、調和的な学校運営が行われるよう、適材適所の管理職人事を推進したこと。

（3）女性管理職の登用について、積極的に推進したこと。なお、管理職登用にあたり、原則、同一校での昇任は行っていません。「校長の部」。まず、「退職」ですが、「新宿小学校 赤田憲一」

はじめ44人です。内訳は、小学校27人、中学校17人であり、そのうち「山王小学校 松嶋康子」はじめ4人の女性校長が退職となります。なお、定年退職校長44人の、校長としての平均在職年数は5.4年となっています。次に「新任」ですが、「千城小学校 佐々木一元」はじめ43人を昇格させたいと考えます。内訳は、小学校26人、中学校17人です。新任校長のうち、最年少は、「高浜第二小学校 池田亘宏」はじめ3名の50歳、最年長は「千城小学校 佐々木一元」はじめ12人の57歳です。また、新任校長の平均年齢は、54.9歳です。女性の登用ですが、「高洲第一小学校 庄司佳子」はじめ5人です。なお、女性校長の全体数は、今年度の23人から1人増え、24人となります。次に「転出」ですが、県との管理職人事交流により、「誉田小学校教頭 森正一」を「袖ヶ浦市立奈良輪小学校」の新任校長として転出させます。また、「採用」として、同じく県との人事交流により、現「八千代市少年自然の家所長 佐々木秀一」を「花見川第二小学校長」として採用します。次に「配置換え」ですが、「検見川小学校 田中敏明」はじめ26人です。内訳は、小学校21人、中学校5人です。経験年数、教科等の専門性、学校規模等、様々な要件を考慮して、適材適所の配置に努めました。次に「再任」ですが、教育委員会から、再度、校長として学校現場に転任する者で、「新宿小学校 宍倉喜巳」はじめ12人です。この12人の校長相当職としての事務局在職年数は平均2.1年となっています。次に「行政へ」ですが、校長から教育委員会事務局に入る者です。現「有吉小学校 岡本直也」はじめ12人です。これらの者の平均年齢は54.6歳です。「高洲第二小学校 永野明子」以外、教頭・教諭時代に本市の教育委員会事務局を経験しています。「休職」に入る者はありません。校長の異動にあたっては、新任の校長については、比較的學校規模の小さな學校に、経験者の配置換えについては、比較的規模の大きな學校へ配置するよう配慮するとともに、新任・経験者を問わず、かつて教諭時代に勤務経験があり学区を熟知している學校であるか、また、研究指定校の有無や生徒指導上の課題等を勘案しながら、これまでの経験や実績を踏まえて適正配置に努めたところであります。また、特別支援学級設置校については、教頭・校長として、設置校に勤務した経験のある者や、特別支援教育に長けた校長を配置するなど、配慮したところではあります。次に、「教頭の部」。先ず、「退職」

ですが、「畑小学校 星和生」はじめ9人です。内訳は、小学校6人、中学校3人であり、「大巖寺小学校 田中清」以外の8人は定年退職です。次に、「新任」ですが、「畑小学校 手川京子」はじめ53人です。内訳は、小学校34人、中学校19人で、昇格者の平均年齢は53.1歳です。最年少は「磯辺第四小学校 小林英清」の47歳、1人で、最年長は54歳、2人となっています。また、女性の登用ですが、「畑小学校 手川京子」はじめ4名です。これにより、平成21年度の女性教頭は、今年度と同数の18人となります。参考までに女性教務主任ですが、本年度の24人から2人増の、26人となります。また、学校現場から教育委員会事務局へ入る女性は、教諭・養護教諭等含めて21人を予定しています。次に「転出」ですが、県との人事交流により、現「草野小学校教諭 山口喜弘」を「習志野市立秋津小学校」の新任教頭として転出させます。「採用」ですが、県との人事交流により、現「市原市立辰巳台西小学校教諭 近藤信雄」を「大木戸小学校」に、また、「越智中学校 四ノ宮貫」並びに「草野中学校 荒川雄之」は在外の日本人学校から帰還し、新たに採用する者です。次に、「配置換え」ですが、「本町小学校 元吉稔」はじめ24人です。内訳は、小学校16人、中学校8人です。校長の配置換えと同様、経験年数、教科等の専門性、学校規模等、様々な要件を考慮して適材適所の配置に努めるとともに、新任の教頭については校長経験者と、また、教頭経験者については新任の校長と組み合わせる等、校長・教頭の経験年数に応じてバランスのとれた配置となるよう配慮したところです。最後に、「行政へ」ですが、教頭職から教育委員会事務局へ異動する者で、現「犢橋小学校 加瀬直之」はじめ22人で、これらの者の平均年齢は51.8歳です。

7 その他

- (1) 平成22年度公立学校教員採用候補者選考について奥山委員より質問があった。これに関連し、次のとおり質疑応答があった。

奥山委員 養護教諭特例選考について、「看護師としての実務経験を持った者」を養護教諭として求めるとのことですが、現在どの程度の割合で入っているのでしょうか。

教職員課長 実務経験3年で受験資格が与えられますが、この特例選考を受験する方はそれほど多くはないという状況で、実際の採用の段階で3～4人という状況です。実際、養護教諭の数が足りない現

状があり、本市でも養護教諭が病気で休んだ場合など、その代わりとなる養護教諭がすぐには見つからない状況であるため、看護師の実務経験を持っている方にも特例選考で受験してもらい、養護教諭の数を確保したいと考えています。

奥山委員 採用後のことですが、カウンセリングやコミュニケーションでは、もし、子どもをめぐって先生方と養護の先生が、考え方が異なるような場合でも、子どもを中心に最善を尽くしていることに変わりはないはずです。先生も養護教員の方も、コミュニケーションを十分にとって、双方で理解することが大事なことです。

(2) 次回第3回定例会は平成21年3月23日(月)に開催することと決定した。

8 閉会

津田委員長より閉会を宣言